

陶小だより

綾川町立陶小学校
令和3年6月号



「わくわく」があふれる学校に

校長 横田 由香

町内の小学校では、5月29日に予定していた運動会が9月に延期になりました。また、6月に予定していた授業参観も中止としました。先日、昨今の気温上昇による熱中症や感染症のリスクを考慮し、町の水泳記録認定会が終了となったことも3年生以上の保護者の方にお知らせしました。皆様や子ども達の安全・健康を第一に考えてのことですが、「保護者の方も、今年こそはと楽しみにされていたるうに。」「もう練習が始まっているし、がっかりする子が多いだろうな。」「昨年も運動場でできていないし、どう思うかな。」「子ども達や先生方の頑張りを見ていただきたかった。」と、暗い気持ちばかりが私の心を埋め尽くしました。

運動会延期については、子ども達のモチベーションを下げないように、それまで一番近くでがんばりを見てきている担任から話をしてもらいました。その時の子ども達の反応を聞いてみると、「楽しみが先に延びるだけや。」「延びたら、その分いっぱい練習できるやん。」という声が返ってきたとのこと。そして、その日の放送委員会による下校の放送。「運動会が9月に延期されて悲しくて残念だけれど、それまでにもっと上手になれると思ったらがんばれますね。」というアナウンスが校内に響きました。明るい子どもの声を聞いていて、思わず熱いものが込み上げてきました。暗い気持ちが一瞬で晴れたのと同時に、ネガティブな自分が恥ずかしくなりました。

コロナ禍の中、陶小学校の子ども達は強く、たくましく成長しています。そして、変化に対応する柔軟な考え方、現実を受け止め前向きに捉えることを身に付けています。制限が続く中、どうすれば子ども達が目標を見失わずに、わくわくした日々が過ごせるか、みんなで知恵と工夫を出し合いながら、ピンチをチャンスと考え、チャレンジし続けたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、お力添えを今後ともよろしくお願いします。

児童引き渡し訓練を教職員で行いました。



保護者役、担任役、児童役となり、実際の場面を想定し、シミュレーションをしました。

全校生でサツマイモを育てます。



地域の方が農園の土づくりからマルチ張りまでしてくださいました。収穫が楽しみです。



ペア学年でお互いのよさを紹介 今月は1年生⇒6年生

このコーナーでは、ペア学年として、一緒に活動をしている学年のキラリと輝くよいところを紹介しています。今月は1年生が6年生の活躍を見て思ったことをお伝えします。

とても優しいお兄さん、お姉さん。いつもありがとう。

6年生は、1年生が学校に早く慣れるようにと、入学した次の日からいつも優しく声をかけてくれています。朝のランドセルの片付けの仕方を1つ1つ丁寧に教えてくれたおかげで、自分だけで素早くランドセルの片付けをすることができるようになりました。今でも、登校後、1年生の教室に来て、ランドセルの片付けの仕方を優しく見守ってくれている6年生もいます。

また、給食や掃除のお手伝いもしてくれています。1年生が重い食器かごを運んでいるのを見るとすぐに手をさしのべてくれたり、ランチルームのどこに食巾を返せばいいか困っていると教えてくれたりします。また、おかずなどをつぐ手伝いをしてくれたり、つがれたおかずを運んでいる1年生を見て、こぼさないように運べるように見守ってくれたりしています。掃除の時間は、1年生と一緒に掃除をしながら、掃除の仕方を教えてくれています。

端に沿って掃くといいんだな。



ちり取りは、少しずつ後ろにずらしながらゴミをとるといいよ。



ゴミ捨てご苦労様。
ゴミ袋をゴミ箱にセットしようね。

また、1年生は、6年生がいろいろ教えてくれることだけでなく、一緒に遊んでくれることにも大喜びです。ペアになって自己紹介カードを交換したり、体ほぐしを一緒にしたりしました。笑顔いっぱいの時間を過ごすことができました。



とても頼もしい6年生の姿がたくさん見られています。1年生はそんな6年生が大好きです。